

学校教育の方針と重点

《教育における今日的課題》

学力や体力の向上、いじめ防止対策推進、不登校対応、児童虐待防止、地域と連携して協働ですすめる生徒指導、食物アレルギー対応、マイノリティの児童生徒を含め、誰もが安心して楽しく学ぶ学習環境づくりなど、解決せねばならない喫緊の課題が教育現場には山積している。

平成26年度から、年間二学期制の導入と、長期休業日等の短縮により時間を生み出し、児童生徒一人一人をかけがえのない存在として育成してきた。さらに各校に学校運営協議会を設置することで、教職員や保護者を含めた地域との協働を推進し、将来の羽島郡二町、日本、世界をリードする志の高い児童生徒の育成に取り組んできた。これらをさらに推進し、仲間とともに教職員や地域の方と協働する中で、先哲の考えを手がかりに自分の考え方や行動を決定し、キャリア形成を図る児童生徒の育成を求めている。また、新しい学習指導要領に基づく教育実践を重ねることで、習得・活用・探究の過程を通し、知識を相互に関連付けて深く理解したり、問題を見出し自ら解決・創造したりする児童生徒の育成を求めている。

様々ななかかわりの中で学び、 社会の一員として貢献できる社会人の育成

- ◎ 家庭・社会の期待に応え、夢と自信をもち、可能性に挑戦するために必要な力の育成
- ◎ 個性や能力を発揮して活躍し、学び続ける、活力と連帯感のある人づくり

- ◎ 夢と自信をもち、可能性に挑戦するために必要な力を育成します。
- ◎ 社会の持続的な発展を牽引できる多様な力を育成します。
- ◎ 学びや育ちを支え、だれもが社会の担い手となれるセーフティネットを構築します。